

## 「2022年9月短観（茨城県）」の解説

### 【判断 D.I.】

- 業況判断 D.I.は、非製造業が悪化した一方、製造業が改善したことから、全産業では「良い」超幅が拡大しました。
- 先行き2022年12月までの予測では、製造業、非製造業ともに悪化するため、全産業では「良い」超幅が縮小すると見込まれています。

### 【事業計画】

- 2022年度の事業計画をみると、業績は、前年度対比「増収・減益」となる計画です。設備投資は、前年度を上回る計画となっています。

## I. 判断 D.I.

### 1. 業況判断

- 企業の業況判断 D.I.は、非製造業（前回4→今回2）が悪化した一方、製造業（同1→同9）が改善したことから、全産業（同3→同6）では2期振りに改善した。
  - 全国の動き（全国短観）をみると、製造業（前回1→今回0）が悪化した一方、非製造業（同4→同5）が改善したことから、全産業（同2→同3）では改善した。
  - ◇ 県内の業種ごとの主な動きをみると、製造業では、鉄鋼、非鉄金属が、商品市況の下落などから悪化した。一方、食料品が新型コロナウイルス感染症の影響の緩和から、金属製品が設備投資関係需要の増加から、はん用・生産用・業務用機械、輸送用機械が供給制約の影響の緩和などから、それぞれ改善した。
  - ◇ 非製造業では、建設が設備投資関係需要の増加から、宿泊・飲食サービスが感染症の影響の緩和から、それぞれ改善した。一方、不動産・物品賃貸、卸売が仕入価格や燃料価格の上昇に伴うコスト増から、小売が天候要因などから、それぞれ悪化した。
- 先行き2022年12月までの予測では、製造業（今回9→先行き6）、非製造業（同2→同△4）ともに悪化し、全産業（同6→同1）でも悪化が見込まれている。

## 2. 需給・在庫・価格判断

- 国内での製商品・サービス需給判断（全産業）は、製造業が「需要超過」幅を縮小したほか、非製造業が「供給超過」幅をやや拡大したことから、全産業では「供給超過」幅を拡大した（前回 $\Delta 4$ →今回 $\Delta 8$ ）。先行きについては、「供給超過」で横ばいを予測（今回 $\Delta 8$ →先行き $\Delta 8$ ）。
- 海外での製商品需給判断（製造業）は、「需要超過」幅を縮小した（前回 $17$ →今回 $12$ ）。先行きについては、「需要超過」幅の縮小を予測（今回 $12$ →先行き $9$ ）。
- 製商品在庫水準判断（全産業）は、「過大」超幅を縮小した（前回 $7$ →今回 $5$ ）。
- 仕入価格判断（全産業）は、「上昇」超幅が拡大した（前回 $63$ →今回 $66$ ）。販売価格判断（全産業）は、「上昇」超幅が拡大した（同 $29$ →同 $31$ ）。先行きについては、仕入価格判断（全産業）は、「上昇」超幅の拡大を予測（今回 $66$ →先行き $69$ ）。販売価格判断（全産業）は、「上昇」超幅の拡大を予測（同 $31$ →同 $41$ ）。

## 3. 設備・雇用人員判断

- 生産・営業用設備判断（全産業）は、「適正」で横ばい（前回 $0$ →今回 $0$ ）。先行きについては、「不足」超への転化を予測（今回 $0$ →先行き $\Delta 2$ ）。
- 雇用人員判断（全産業）は、「不足」超幅が拡大した（前回 $\Delta 29$ →今回 $\Delta 37$ ）。先行きについては、「不足」超で横ばいを予測（今回 $\Delta 37$ →先行き $\Delta 37$ ）。

## 4. 企業金融関連判断

- 資金繰り判断（全産業）は、「楽である」超幅がやや縮小した（前回 $7$ →今回 $6$ ）。金融機関の貸出態度判断（全産業）は、「緩い」超幅が拡大した（同 $13$ →同 $15$ ）。この間、借入金利水準判断（全産業）は、「上昇」超幅が拡大した（同 $2$ →同 $4$ ）。

# II. 事業計画

## 1. 売上高

- 2022年度の売上高は、製造業（前年度比 $+8.8\%$ ）、非製造業（同 $+3.2\%$ ）ともに増収計画となり、全産業（同 $+6.2\%$ ）でも2年連続の増収となる計画（前回調査から $\Delta 1.3\%$ の下方修正）。

## 2. 経常利益

- 2022年度の経常利益は、製造業（前年度比 $\Delta 1.1\%$ ）、非製造業（同 $\Delta 3.0\%$ ）ともに減益計画となり、全産業（同 $\Delta 2.4\%$ ）でも2年連続の減益となる計画（前回調査から $\Delta 3.1\%$ の下方修正）。

## 3. 設備投資額

- 2022年度の設備投資額（ソフトウェアを含むく除く土地投資額）は、製造業（前年度比 $+51.6\%$ ）、非製造業（同 $+3.0\%$ ）ともに増加計画となり、全産業（同 $+32.8\%$ ）でも2年振りの増加となる計画（前回調査から $\Delta 0.5\%$ の下方修正）。

以 上

(参考)

## 茨城県と全国の業況判断D. I. (全規模)の推移

